



1 単元における学習評価の進め方

単元における観点別学習状況の評価を実施するに当たり、以下のように進めることが考えられる。

評価の進め方	1	単元の目標を作成する	①、②については、学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説、生徒の実態、前単元までの学習状況等を踏まえる。
	2	単元の評価規準を作成する	③については、①、②を踏まえ、評価場面や評価方法等を計画する。 どのような評価資料を基に、「おおむね満足できる」状況(B)と評価するかを考えたり、「努力を要する」状況(C)への手立て等を考えたりする。
	3	「指導と評価の計画」を作成する	
		授業を行う	③に沿って観点別学習状況の評価を行い、生徒の学習改善や教師の指導改善につなげる。
	4	観点ごとに総括する	④については、集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的評価(A、B、C)を行う。

2 国語科における学習評価の進め方

- Step 1 単元で取り上げる指導事項の確認
- Step 2 単元の目標と言語活動の設定
- Step 3 単元の評価規準の設定
- Step 4 単元の指導と評価の計画の決定
- Step 5 評価の実際と手立ての想定

国語科の評価は5つのStepで!

①の評価の進め方、①~③の段階において、5つのStepで考えていこうよ。



Point!

単元の目標は「内容のまとまり」ごとに設定し、[学びに向かう人間性等]は、当該学年の学年の目標から設定する。
評価の観点は「主体的に学習に取り組む態度」となる。

3 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の作成方法

国語科においては、「内容のまとまりごとの評価規準」が単元の評価規準となることを踏まえて、単元で育成を目指す資質・能力と言語活動に応じて、下記の①~④の内容を全て含めて作成する。

- ① 粘り強さ (例：積極的に、進んで、粘り強く)
- ② 自らの学習の調整 (例：学習の見通しをもって、学習課題に沿って)
- ③ 他の2観点 [知識・技能] [思考・判断・表現] において重点とする内容
- ④ 当該単元の具体的な言語活動

Point!

単元の評価規準を作成する際には「~しようとしている。」という文末を用いる。①~④の組合せを工夫する。

【例】中学校学習指導要領 第2学年 [思考力、判断力、表現力等]

「C読むこと (1)イ」(言語活動例:C(2)イ)

単元における言語活動:「走れメロス」を読み、登場人物の言動の意味について考えたことを語り合う。

【主体的に学習に取り組む態度の評価規準】

積極的に(①)登場人物の言動の意味などについて考え(③)、学習課題に沿って(②)考えたことを語り合おうとしている(④)。

【評価方法】

意見交流をしている様子等の観察

【本時における「おおむね満足できる」状況(B)の生徒の姿】

登場人物同士の言動の関係が、話の展開とどのように関わっているかを語り合ったり、気付いた内容をノートにメモしたりしようとしている。

「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への手立てが大事になるんだね。



具体的な生徒の姿を設定しておくことが大切だね。

例えば・・・

- 登場人物の言動の関係を考えようと、自分と同じ関係を選んだ者を探して語り合おうとする姿
- 文章にまとめるために、他の生徒と語り合う中で気が付いたことをノートに記述している姿

単元の学習課題や学習の見通しについて再度確認するよう指導する。

(A)の生徒の姿
○ これまで学習した他の作品のことを話したり、異なる考えをもつ友達を数名集めてグループで対話をしようとする姿が見られる。

(C)の生徒の姿
○ 対話を一度しようとしただけで、他の生徒の考えを参考にしようとする姿が見られない。

Point!

(C)と判断する状況にある生徒に対して「手立て」を想定しておく。

4 単元の指導計画及び評価の具体的な場面（一部）

3の評価規準に基づき、「主体的に学習に取り組む態度」の評価場面や評価方法が示されている。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。(2)イ)	①「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。(C(1)ア) ②「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ)	①積極的に登場人物の言動の意味などについて考え、学習課題に沿って考えたことを語り合おうとしている。

【単元の流れ】

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	○ 学習のねらいや進め方をつかみ、学習の見通しをもつ。	・学習活動のイメージをもたせるために、「少年の日の思い出」を用いて、教師がワークシートに記入するモデルを示す。	
2	○ 「走れメロス」を通読し、話の展開や内容の大体をつかむ。 ○ 3人グループになり、メロス、セリヌンティウス、ディオニスの中から各自が担当する登場人物を決める。		
3	○ 登場人物ごとに作成した3枚のワークシートを模造紙に貼付する。 ○ 様々な関係の表し方について理解する。 ○ 3人の登場人物の言動がどのように関係しているのかについて、言動の意味を踏まえながら模造紙に整理する。 【3枚のワークシートを貼付した模造紙への書き込み】参照	・様々な関係を表すために、記号等を用いたり、丸や四角などで囲んだりすることを理解させる。 ・各自に異なる色のペンを使用させ、誰がどの関係について記したのかが分かるようにする。	[知識・技能] ① 模造紙 ・ここでは、登場人物同士の言動の関係を、記号等を用いて表しているかを確認する。
4	○ 前時で整理した3人の登場人物の言動の関係の中から、話の展開にどのように関わっているかについて更に考えたものを一つ選ぶ。 ○ 選んだ関係と話の展開との関わりについて考えたことをノートに書く。 ○ 同じ関係を選んだ者や他の関係を選んだ者と語り合い、考えたことをノートにメモする。	・第3時に模造紙に記入した内容の中から選ばせる。 ・ワークシートや模造紙に記した内容など、第1時から第3時までの学習を振り返らせながら考えを整理させる。 ・グループごとに作成した模造紙を読ませ、互いの解釈について確認させる。	[主体的に学習に取り組む態度] ① 観察 ・ここでは、登場人物同士の言動の関係が、話の展開とどのように関わっているかを語り合ったり、気付いた内容をノートにメモしたりしようとしているかを確認する。
5	○ 前時の活動を通してメモしたことも踏まえて、自分が選んだ関係について考えたことをノートに文章でまとめる。 ○ 数名発表する。	・自分が選んだ関係が話の展開においてどのような意味をもつのかについて、自分の解釈を文章にまとめさせる。 ・意図的に指名する。発表に対す	[思考・判断・表現] ② ノート ・ここでは、登場人物同士の言動の関係が、話の展開においてどのような意味をもつのかを考えているかを確認す

各時間の具体的な学習活動を構想し、単元のどの段階で、どの評価規準〔知識・技能/思考・判断・表現/主体的に学習に取り組む態度〕に基づいて評価するのかを決定する。

Point!
「主体的に学習に取り組む態度」の評価をどの段階で行うのかを指導計画作成の際に決定しておく。

【評価方法】
意見交流をしている様子等の観察メモ



授業中の発言やノートの記述内容など、多様な評価方法で見取ることが大切になるね。

記録の総括の時期としては、単元末、学期末、学年末等の節目が考えられるよ。評価に係る記録が複数ある場合は、次のような方法があるから参考にしな。評価結果のA、B、Cを数値に置き換えて総括する場合
○ 評価結果のA、B、Cの数を基に総括する場合
他にも、さまざまな方法が考えられるよ。
いずれにしても、評定への総括の考え方や方法は、教師間で共通理解を図り、児童及び保護者に十分説明し理解を得ることが大切だね。

